

寅さん歩 その 26

東京の主要道路の起点～終点

靖国通り - 1



平野 武宏

道路名の標識・経路案内標識や標識の数字・その形に興味を持った寅次郎、東京の主要道路を起点から終点まで道路標識を頼りに歩いて、各交差点で交差する道路を学びたいと思いました。2021年10月から「不忍通り」、「白山通り」、「春日通り」、「明治通り」、「昭和通り」、「平成通り（番外編）」と歩いてきた寅次郎、元号の大正を通称とした道路はないかと探したところ、現在の「靖国通り」が1962年（昭和37年）に命名される以前は「大正通り」と呼ばれていたと知りました。昭和通りと同じように関東大震災の復興事業で東京の東西の軸として造られた道路です。

今回（2021年11月）は靖国通りを歩きます。寄り道があるので3回に分けました。写真上右の靖国通り（都道302号線）の道路名標識は緑で主要地方道を表します。場所により白い道路標識（一般都道）の靖国通りもありました。

靖国通りは中央区東日本橋二丁目の隅田川に架かる両国橋西を起点に新宿区歌舞伎町のJRの大ガードを終点とした延長8kmの道です。掲載の写真は人や車の密を避けた時間帯に撮影しました。詳細を知りたい方は各道路のホームページをご覧ください。最寄駅は交通機関を利用した場合の代表駅です。

バーチャルウォークの途中経過も報告します。

〔両国橋〕 中央区東日本橋二丁目 最寄駅 JR総武快速線 両国駅

両国駅西口から京葉道路（国道14号線）に出て、右に行き、墨田川に架かる両国橋東（写真下左）に向かいました。両国橋は千住大橋に続き、防災・防火の目的で隅田川に二番目に架かった橋で武蔵国と下総国を結んだ橋です。創架は1659年（万治2年）または1661年（寛文元年）と諸説あります。当初は大橋と呼ばれていましたが、1693年（元禄6年）新大橋が架橋され、両国橋が正式名称となったとのことです。隅田川が中央区と墨田区の区境です。

靖国通り（都道 302 号線）の起点は中央区東日本橋二丁目で両国橋西（写真下右前方）です。京葉道路（国道 14 号線）は墨田区両国一丁目で両国橋東が起点で、終点は江戸川区篠崎二丁目です。



密を避けた休日早朝（6 時 30 分）に起点（写真下左）をスタートすると、すぐ左へ行く道に「薬研堀不動尊」の赤いのぼり（写真下右）が立っていました。目白・目黒に並ぶ江戸三大不動尊で現在は川崎大師の別院になっています。ここは「講談発祥之地」、「順天堂発祥之地」です。寅さん歩 22 東京発祥之地めぐり（学問・文化編 3）をご覧ください。



[浅草橋交差点] 中央区日本橋馬喰町一丁目

最寄駅 JR 総武快速線 馬喰町駅

写真下の経路案内標識のように浅草橋交差点は二か所あり、手前の交差点は江戸通りから分岐し、靖国通りと交差し、左先の清洲橋通りに合流します。



写真上右は先の浅草橋交差点で靖国通り（都道 302 号線）は江戸通り（国道 6 号線）と交差します。左へ行くと日本橋方面、右へ行くと浅草橋方面です。写真右の道路標識には京葉道路（国道 14 号線）の案内もありました。



[東神田交差点]

千代田区東神田二丁目

最寄駅 都営新宿線 馬喰横山駅

靖国通りの下を都営地下鉄新宿線（以下都営新宿線）が通っています。東神田交差点（写真下左）は左へ行くと岩本町 1 丁目、神田金物通り方面、右へ行くと神田川を渡り、鳥越、清洲橋通り（474 号線）方面です。



[岩本町交差点] 千代田区神田岩本町

最寄駅 都営新宿線 岩本町駅

写真下左は岩本町交差点手前です。前方に高速道路上野線が通り、下は昭和通りです。この交差点を渡って歩いた昭和通りが懐かしく思えた寅次郎でした。



写真下左は岩本町交差点で昭和通り（国道4号線）と交差します。左へ行くと江戸橋方面、右へ行くと秋葉原駅、上野駅方面です。



[須田町交差点] 千代田区神田須田町一丁目

最寄駅 都営新宿線 小川町駅

須田町交差点（写真上右）で中央通り（国道17号線）と交差します。左へ行くと神田、日本橋方面、右へ行くと万世橋、上野広小路、巢鴨方面です。



〔淡路町交差点〕

千代田区神田淡路町一丁目

最寄駅 都営新宿線 小川町駅

淡路町交差点（写真下右）で外堀通り（都道 405 号線）と交差します。左へ行くと有楽町方面、右へ行くと池之端方面です。



〔小川町交差点〕

千代田区神田小川町一丁目

最寄駅 都営新宿線 小川町駅

小川町交差点（写真下右）で本郷通り（都道 403 号線）と交差します。左へ行くと大手町方面、右へ行くとお茶の水方面です。靖国通りは直進です。江戸時代の小川町は神田の西半分を占める広大な地域を指したそうです。古くは鷹狩りの鷹を飼育する鷹匠が住み、元鷹匠町と呼ばれましたが、元禄 6 年に将軍綱吉の「生類憐みの令」の影響で小川町に改称されました。町名の由来は清らかな小川が流れていたとも、「小川の清水」と呼ばれた池があったとも伝わります。太田道灌もその風景を歌に詠んでいるそうです。



写真上右の交差点左に見える白い細長い「日米商会ビル」の6階は東京都ウォーキング協会の事務所と知りました。1階は「たい焼き屋」さんです。

[寄り道] 神田達磨 羽根付きたい焼き

久しぶりの寄り道です。寅さん歩の寄り道とは途中で飲食の目的で立ち寄ることを云います。今回は開店前なので後日の立ち寄りです。



羽根はパリパリで中身がたっぷり入った美味しい味のたい焼きでした。



今回はここまでとします。次回は千代田区駿河台下交差点から千代田区九段の靖国神社まで歩きます。

[バーチャルウォーク途中経過]

八柳修之さん作成の多くのバーチャルウォークコースがFWAホームページ「YR・四季の道」に掲載されています。現在、寅次郎は「バーチャル 東北復興支援絆ウォーク」で福島県相馬市から青森県八戸市までの410kmに挑戦しています。

2022年1月16日、福島県相馬市スポーツアリーナを出発、2022年3月7日、福島県相馬市から宮城県気仙沼市本吉 三陸沿岸道路の小泉海岸IC（福島県相馬市から152km）に到着しました。2011年3月の東日本大震災で最大21mの津波が押し寄せ、閉鎖となった小泉海岸海水浴場は防潮堤工事を終えた2019年夏に再開しています。

「東北支援絆ウォーク」は東日本大震災10年を迎えるにあたり震災の記憶を風化させない、復興10年を期に東北の発展を支援するために日本ウォーキング協会などが主催団体となり、2021年3月から行われています。

寅次郎、藤沢から東京へ移住（2012年8月）して「寅さん歩」を書き始めて10年を迎えます。

新型コロナウイルスの新しい変異株（オミクロン株）が見つかり、世界中で感染拡大が始まり、日本でも感染が拡大しています。東京都や神奈川県などは2022年1月21日からまん延防止等重点措置が適用され、例会も中止となりました。毎日の運動不足対策にはマイお散歩コースを見つけ、その歩いた距離を累計して楽しむバーチャルウォークを始めませんか。

毎日の歩いた距離をコースシート上のマスの色塗りして進むバーチャルウォークはやりがいがあります。

FWAのHP「YR・四季の道」の「バーチャルウォークコーナー」は各コースが紹介され、各コースシートが印刷できます。

また「ひとり歩きコーナー」には地図付きの各コースがありますので選んで印刷して利用ください。

歩く際は密閉・密集・密接の密にならないよう、又それ以外の感染対策を怠らないようにお願いします！

平野 寅次郎 拝

